



## 4万人が挑戦、学習塾の小学生が増加

= 平成27年度第2回日本語検定 =



日本語の総合的な能力を測る「日本語検定」（略称・語検）の平成27年度第2回（通算第18回）検定が、11月6日（金）と7日（土）に行われました。国内は47都道府県91カ所の一般会場と836カ所の準会場、海外はアイルランド（ダブリン2カ所）、アメリカ（グアム）、ドイツ（フランクフルト）、韓国（ソウル）の4カ国5カ所で実施され、前回は3.7%（1481人）を上回る4万1882人が受検しました。

「語検」は、敬語や文法、語彙（ごい）、表記など6つの領域にわたり、日本語を正しく使うことができるか、一人ひとりの能力を測るものです。1級から7級まで、小学生から社会人まで幅広い年齢層を対象としています。検定結果は、12月初旬に語検ホームページで合否速報が発表され、同中旬には個人カルテと認定証が発送されます。

今回の受検者数は、1級（社会人程度）922人、2級（大学卒業程度）5565人、3級（高校卒業程度）1万3283人、4級（中学校卒業程度）9714人、5級（小学校卒業程度）7196人、6級（小学校4年修了程度）3794人、7級（小学校2年修了程度）1408人で、小学校低学年から卒業までを想定した5級から7級までの受検者が、前回に比べ5割ほど増えたのが大きな特徴です。

「（小学生が通う）学習塾の（準会場）受検が増える傾向にある」（語検事務局）としており、中学受験などを据えて早いうちから日本語の能力を高めておこうという意識の表れと見られます。また、「3級取得済みの大学生や20代後半から30代の働く女性が2級に挑むケースが目立った」（同）としており、正しい日本語を身に付けたいという意欲が、就職活動をにらんだ大学生やキャリアアップを目指す社会人に高まっているものと見られます。最年長者は2級を受検した東京都の93歳の男性、最年少者は7級を受検した神奈川県幼稚園に通う4歳の男の子でした。



### ◆ 1090人が受検 = 東京23区会場

東京23区の一般会場となった渋谷区広尾の日本赤十字看護大学では、社会人を中心に1090人が1級から7級に挑戦しました。

曇り空ながら11月としては暖かく感じられる天候の中、薄めのコートやジャケットに

身を包んだ受検者が目立ちました。早い人は検定開始の1時間以上前に到着し、ロビーのいすに腰掛けて新聞を読んだり、問題集に目を通したりしていました。教室の大きさに合わせておおよそ30～90人ずつ、級ごとに分けられた受検会場では、15分前になると監督者の注意事項の説明があり、受検者は静かに耳を傾けていました。



次ページへ続く >>>

## ◆ 海外でも正しい日本語

2級の検定会場となった階段式の大教室で問題集とにらめっこしていた世田谷区在住の女性（18）は経済を専攻している大学1年生。「幅広く知識を身に着けたい」と考えて様々な検定に挑戦し、これまでに英検2級をはじめ複数の資格を取得。入学したばかりで「（卒業後の）進路はまだ決めていないが、就職にも有利」と初めての語検にやや緊張した表情を見せていました。

語検2級に2度目のチャレンジという埼玉県八潮市在住のトラック運転手の男性（41）は、青年海外協力隊への応募を目指して英検準2級を取得。米国や東南アジアなどの友人と英語でメールのやり取りもしているが、「海外で仕事するにも、まずは母国語」と海外での活躍を夢見ながら正しい日本語の習得に意欲を燃やしていました。

## ◆ 「一生涯学ぶ姿」を孫に

30人ほどが定員の4級の教室には大人に混じって小学生や中学生の姿がありました。「お母さんに『いろいろチャレンジした方がいいよ』と薦められた」という世田谷区在住の男子中学生（13）は既に幾つかの資格を持っており、語検も5級からのランクアップを目指して勉強を積み重ねて迎えた本番。しっかりした口調で「将来は警察官になってパトカーに乗りたい」と目を輝かせていました。

新聞の広告を見て受検を申し込んだという大田区在住の女性（76）は「あのころは教科書もなかった」と自らの小学生時代を振り返り、「文法などを改めて学びたい」と学び直しが受検のきっかけ。「ボケ防止にも役立つ」と笑いながら、「学び続けることが大事」「3人の孫がいるので」とも述べ、一生涯学ぶことの大切さを、「背中」でお孫さんに見せたいという願いも受検には込められていました。

## ◆ 「難しい」けれど「必要」

4級の教室には外国人の姿もありました。目黒区在住の英国人男性（36）はビデオゲームのディレクター。名古屋出身の女性と母国で出会って15年前に結婚し、2年前に来日。日本人とのコミュニケーションなど「仕事のために必要」と正しい日本語を習得するために4級を受検。身振り手振りを交えながら「勉強しました」「でも難しい」と時折顔をしかめつつも笑顔で話してくれました。

（時事通信社編集委員 升谷 昇）

## 平成 28 年度 検定 の ご 案 内

平成28年度  
日本語検定 実施予定

文部科学省後援事業  
**日本語検定**

第1回 (通算第19回)	第2回 (通算第20回)
一般会場 <b>6/18(土)</b>	一般会場 <b>11/12(土)</b>
準会場 <b>6/17(金)・18(土)</b>	準会場 <b>11/11(金)・12(土)</b>
申込期間 <b>3/1(火)～5/20(金)</b>	申込期間 <b>8/1(月)～10/14(金)</b>